

研究課題番号	4RF-1801
研究課題名	小笠原諸島の植生回復を目指した絶滅危惧種オガサワラグワの Ex situ 保存技術の開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 森林総合研究所
研究代表者名	遠藤 圭太

1. 委員の指摘及び提言概要

小笠原を代表する植生のひとつであるオガサワラグワ種子保存の凍結保存の基礎的な技術の開発によって、野外復帰にむけた課題の一つに応えることができた。本研究の成果は、本種の遺伝子資源の確保だけでなく、湿生高木林生態系の再生にも応用できる可能性があり、他の絶滅危惧植物に応用する上での課題や条件を整理して、公表することを期待する。衰退要因あるいは緑陰効果などを検討するとともに、現地での発芽条件を明らかにし、生息地の整備なども含めた再導入（野生復帰）条件を十分検討したうえで、本技術を実際に活用して植え戻すことを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A